



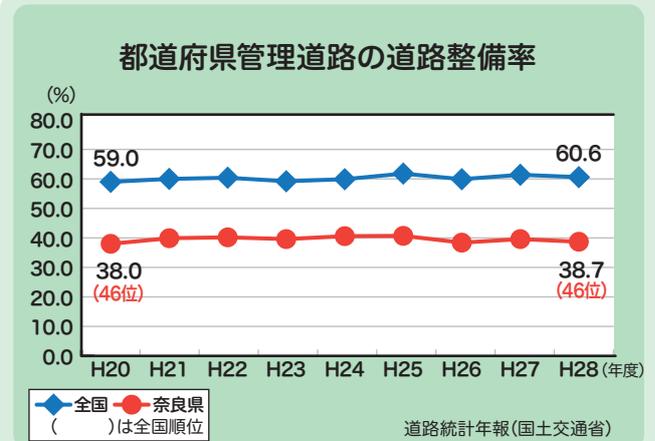
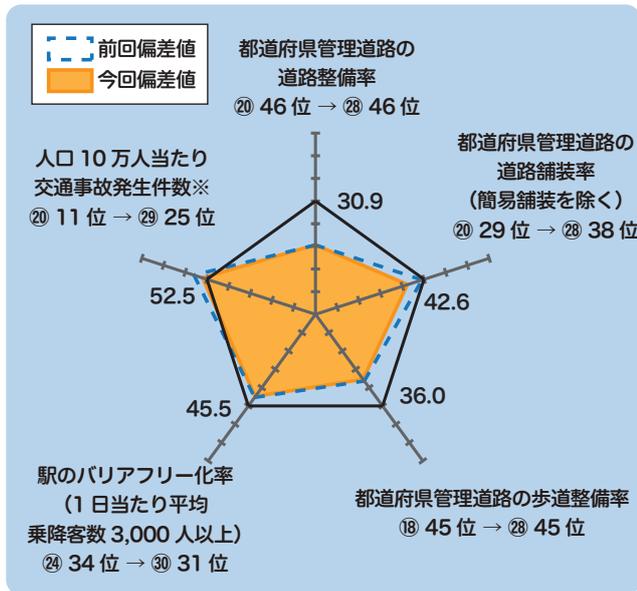
12. 道路整備



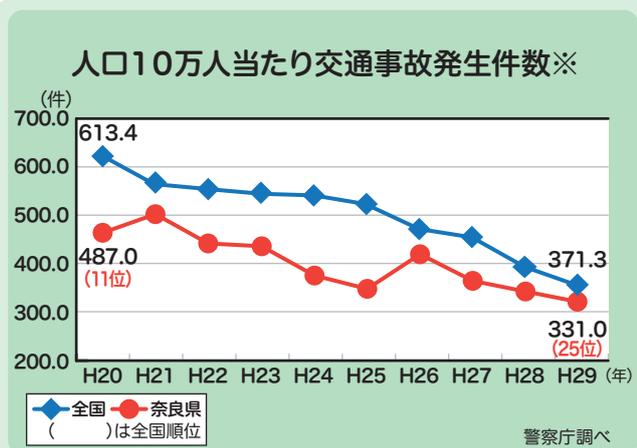
13. 鉄道整備



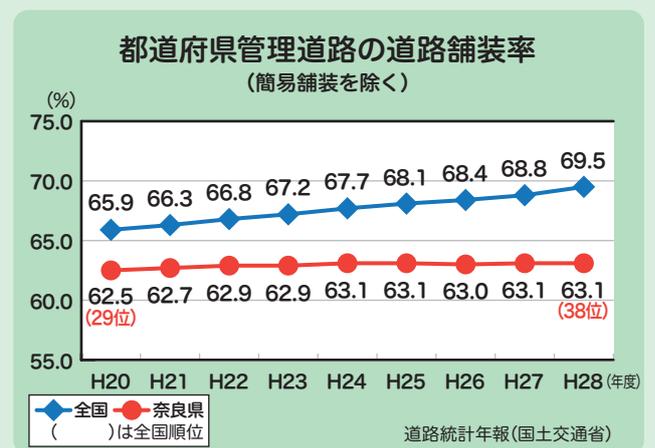
14. バス輸送環境整備



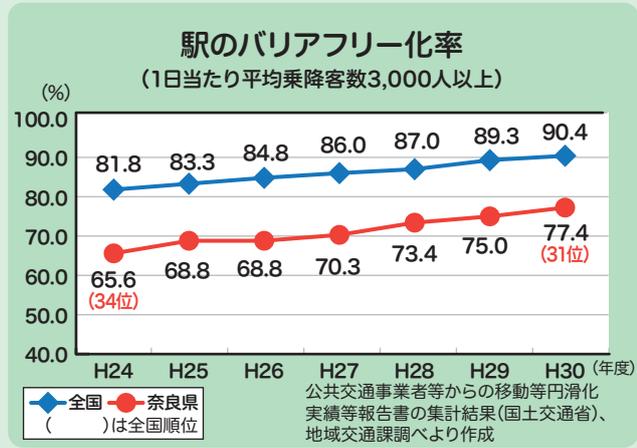
平成28年度の県管理道路の道路整備率約39%で、全国平均の約60%と比べて大幅な遅れとなっています。



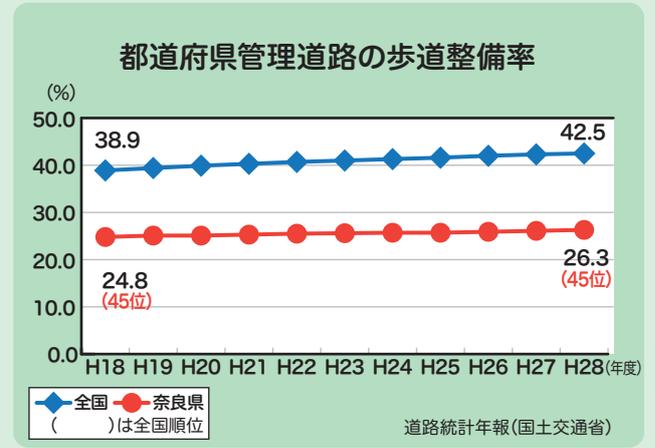
人口10万人当たり交通事故発生件数は、概ね減少傾向にあり、全国平均と比べても少なくなっています。



平成27年度の都道府県管理道路の道路舗装率(簡易舗装を除く)は、平成20年度から0.6ポイント上昇していますが、全国平均と比べて依然低い状態となっています。



駅のバリアフリー化率(1日当たり平均乗降客数3,000人以上)は、平均24年度と比べて11.8ポイント上昇しましたが、全国平均と比べて依然低い状態となっています。



平成28年度の歩道整備率は、平成18年度に比べ1.5ポイント上昇していますが、全国平均と比べると依然低い状態となっています。

※は数値が低い方が良くなる指標です。



(63)京奈和自動車道の整備

(64)京奈和自動車道関連(奈良エリア・西九条佐保線)

(65)京奈和自動車道関連(橿原・高田エリア)

これまで

全区間事業化され整備が進んできました。工事着手されていないのは大和北道路(仮称)奈良北ICから(仮称)奈良IC間のトンネル部分のみ。



京奈和自動車道の整備状況

橿原北IC～橿原高田IC間は、H29.3月末時点で104件の未買収地ありましたが、R1.9月末時点で40件まで減少しました。

もっと良くするために

国土幹線軸に繋がる南北の大幹線京奈和自動車道の早期完成を目指します。

目指す姿

令和2年度以降も引き続き、国とNEXCO西日本による事業推進、県は用地買収に協力します。

京奈和自動車道の工事がどんどん進んでいくね。早く全線開通してほしいね。



▲大和御所道路 (橿原北IC～橿原高田IC)の工事状況

大和北道路は、国とNEXCO西日本により工事が進められているよ。また、大和御所道路は、国により橋梁工事が行われているよ。県は今後も整備促進を国に働きかけ、用地買収に積極的に協力していくよ。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
大和北道路 ((仮称)奈良IC～郡山下ツ道JCT)の整備推進	用地・工事推進(事業者:国・NEXCO西日本)		
大和御所道路 (橿原北IC～橿原高田IC)の整備推進	用地・工事推進(事業者:国)		

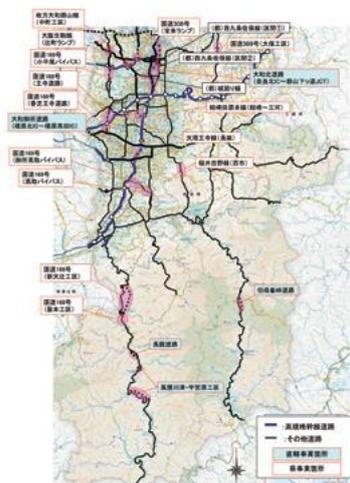


(66)～(69)大和平野中心部道路整備、
 (70)～(71)アンカールート国道168号整備
 (72)～(73)アンカールート国道169号整備、(74)大和平野東部道路整備

これまでは

骨格幹線道路ネットワーク図

骨格幹線道路の概成が近くなってきていますが、用地買収など十分な事業進捗が図られていない箇所も存在しています。



令和元年度の骨格幹線道路の部分供用予定箇所

○枚方大和郡山線(中町工区)(奈良市)



○天理王寺線(長楽工区)(川西町、河合町)



もっと良くするために

道路が整備されれば奈良県は良くなります。奈良県のまちづくりや安全・安心を支える道路整備を全力で推進します。

目指す姿

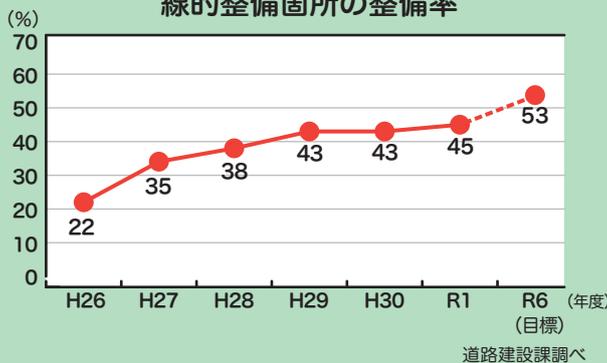
令和6年度までに骨格幹線道路ネットワークの線的整備箇所(注)の整備率を53%にします。

(注) 線的整備箇所…骨格幹線道路ネットワークを形成する路線のうち、未改良区間及び未事業化箇所

県土の骨格を形成すべき、特に重要な路線を「骨格幹線道路ネットワーク」と位置づけ、その重点的な整備を進めているよ。



骨格幹線道路ネットワークの線的整備箇所の整備率



幹線道路の整備は大きな前進を見せているね。今後も各路線の早期完成を目指して工事を進めてもらいたいですね。



主な取組

取組

骨格幹線道路ネットワークの形成

令和2年度

令和3年度

令和4年度

路線の線的整備等の推進

[(66)～(73)の詳細]

(66)国道163号、(67)国道168号と周辺道路、(68)大和中央道、(69)阪奈道路結節点、(70)五條エリア、(71)十津川エリア、(72)御所・高取エリア、(73)川上・上北・下北エリア



- (75)道路の維持管理の計画化・体系化
- (76)域内道路の整備方針検討、奈良県道路整備計画の推進
- (77)道路整備個別箇所検討
- (78)用地買収・用地補償の円滑な進め方の検討

これまで

- ・奈良県では、道路整備を「選択と集中」の原則に基づき総合的かつ計画的に推進してきました。
- ・個別事業の進捗状況を管理しつつ、まちづくり等を常に意識し、道路計画そのものを適宜見直す必要があるのではないか。

もっと良くするために

- ・「奈良県道路整備基本計画」において、県土の骨格を形成すべき特に重要な路線網を「骨格幹線道路ネットワーク」と位置づけ、重点的に整備を推進します。
- ・「選択と集中」の深化と道路整備の体系化を進め体系的な考え方の基に個別の事業を判断します。

目指す姿

令和3年度までに道路の供用目標の宣言箇所における供用箇所数を64カ所にします。

完成に向けた事業実施環境が整っていて、概ね3年以内に開通が見込まれる箇所について、供用時期の公表を行っているんだよ。また、周知看板の設置などを行い、地域の方々などに、事業協力へのお礼をお伝えしているよ。



道路の供用目標の宣言箇所における
供用箇所数[累計]



平成30年度は4カ所が供用しています。令和元年度は、中町工区(奈良市)や長楽工区(川西町、河合町)などが供用するらしく、今後もどんどん工事を進めてもらいたいですね。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
調査路線における道路整備の必要性の確認	道路整備による目的貢献度の調査、ルート比較による候補路線の抽出		
奈良県経済の進展に対応した目的志向の道路整備	企業立地・観光振興・まちづくりに資する道路整備の推進		
安全・安心を支える道路整備	災害に強い道路整備・老朽化対策・交通安全対策の推進		